

令和6年度第1回茨城県医療審議会

(同保健医療計画部会及び茨城県地域医療構想調整会議合同) 会議録

- 1 日時 令和6年8月28日(水) 15時00分から16時10分まで
- 2 場所 茨城県庁11階 1106会議室(Web会議(対面併用)として開催)
- 3 出席者 別添「参加者名簿」のとおり
- 4 議事
 - (1) 定足数の確認
事務局司会(医療政策課課長補佐 佐藤)は、医療審議会について委員総数20名に対し、出席委員15名であることを確認し、茨城県医療審議会運営要領(以下「要領」という。)第4条第2項に規定する定足数に達したことを宣した。
 - (2) 出席者の紹介
新任である県医師会副会長の大場委員、筑波大学附属病院長の平松委員、県消防長会の大信委員、筑波大学執行役員の前専門委員を紹介した。
茨城県医療審議会委員のほか、茨城県地域医療構想調整会議の構成員として各構想区域における調整会議の議長等が出席していることを報告した。
 - (3) 事務局の紹介
病院事業管理者の軸屋、保健医療部理事の砂押ほか、保健医療部及び福祉部、病院局の関係課長等が出席していることを報告した。
 - (4) 会議の公開
司会は、本会議を公開とすることについて意見を求めたところ、異議なく承認された。
 - (5) 医療審議会の会長・会長代理及び同保健医療計画部会の部会長・部会長代理の選任
事務局一任のご意見により、事務局案として医療審議会の会長を県医師会長の松崎委員、会長代理を県歯科医師会長の榊委員に、また、保健医療計画部会の部会長を松崎委員、部会長代理を榊委員にする案を示し、異議なく承認された。
 - (6) 議長の選任
要領第4条第1項の規定により、松崎会長が議長に就いた。

(7) 会議録署名人の指名

議長は、要領第11条第1項の規定に基づく会議録署名人に、大場委員及び横濱委員を指名した。

(8) 議事

議長は、事務局に次の事項の説明を求め、事務局は会議資料に基づき説明を行い、質疑応答及び意見交換(別紙参照)が行われたのち、異議なく承認された。

- 審議事項
 - ・地域医療連携推進法人の代表理事の選定について(諮問)
 - ・医師の働き方改革に係る特定労務管理対象機関の指定について(諮問)
- 報告事項
 - ・第7次茨城県保健医療計画の達成状況について
 - ・「医療提供圏域」設定に伴う今後の方針等について
 - ・地域医療構想の推進について
 - ・令和5年度病床機能報告の結果について
 - ・地域医療介護総合確保基金に係る令和5年度事業の事後評価について
 - ・地域医療連携推進法人に係る取組状況について
 - ・届出により一般病床を設置する診療所に係る報告について
 - ・令和6年度医師派遣調整について

以上をもって全ての議事が終了したので、議長は閉会の宣言をした。
上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

令和6年9月4日

茨城県医療審議会会長

松崎信夫

会議録署名人

大場正二

会議録署名人

横濱明

令和6年度 第1回 茨城県医療審議会
(同保健医療計画部会 及び 茨城県地域医療構想調整会議 合同)

参加者名簿

○ 委員

区分		役職名	氏名	摘要
医療を提供する立場にある者	医師会	茨城県医師会会長	松崎 信夫	会議室出席
	医師会	茨城県医師会副会長	大場 正二	オンライン参加
	歯科医師会	茨城県歯科医師会会長	榑 正幸	欠席
	薬剤師会	茨城県薬剤師会会長	横濱 明	オンライン参加
	病院協会	茨城県病院協会会長	塚田 篤郎	会議室出席
	医療法人	茨城県医療法人協会理事	伊藤 道子	欠席
医療を受ける立場にある者	市町村	茨城県市長会会長	高橋 靖	欠席
	保険者	健康保険組合連合会茨城連合会会長	高輪 忍	オンライン参加
	被保険者(福祉)	茨城県社会福祉協議会副会長	榑原 利至	オンライン参加
	被保険者(介護)	茨城県介護支援専門員協会副会長	浅野 有子	オンライン参加
	被保険者(女性)	茨城県女性団体連盟会長	本多 美知子	オンライン参加
	被保険者(生協)	茨城県生活協同組合連合会	青木 恭代	オンライン参加
学識経験のある者	医学	筑波大学理事・附属病院長	平松 祐司	オンライン参加
	公衆衛生	筑波大学教授	我妻 ゆき子	オンライン参加
	地域医療	筑波大学教授	田宮 菜奈子	オンライン参加
	看護	茨城県看護協会会長	白川 洋子	オンライン参加
	栄養管理	茨城県栄養士会常務理事	鈴木 薫子	オンライン参加
	救急業務	茨城県消防長会会長	大信 成人	欠席
	法律	弁護士	上畠 佳子	オンライン参加
	その他	茨城県議会議員	海野 透	欠席

○ 専門委員

役職名	氏名	摘要
筑波大学執行役員	原 晃	オンライン参加

○ 各構想区域調整会議議長等

役職名	氏名	摘要
水戸地域医療構想調整会議議長 (水戸市医師会会長)	細田 弥太郎	オンライン参加
日立地域医療構想調整会議議長 代理 (日立保健所長)	伊澤 智子	オンライン参加
常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議議長 (那珂医師会会長)	小野瀬 好良	オンライン参加
鹿行地域医療構想調整会議議長 (鹿島医師会会長)	坏 正紀	会議室出席
土浦地域医療構想調整会議議長 (土浦市医師会会長)	塚田 篤郎	会議室出席
つくば地域医療構想調整会議議長 (つくば市医師会会長)	成島 淨	オンライン参加
取手・竜ヶ崎地域医療構想調整会議議長 (取手市医師会会長)	眞壁 文敏	オンライン参加
筑西・下妻地域医療構想調整会議議長 (眞壁医師会会長)	榎戸 久	オンライン参加
古河・坂東地域医療構想調整会議議長 (古河市医師会会長)	秋葉 和敬	オンライン参加

○ 事務局（茨城県）

役職名	氏名	摘要
保健医療部長	丸山 慧	欠席
保健医療部理事兼次長兼医療局長	砂押 道大	会議室出席
保健医療部医療局医療政策課長	江寺 広行	会議室出席
保健医療部医療局医療人材課長	大高 めぐみ	会議室出席
保健医療部保健政策課長	小野 幸子	会議室出席
保健医療部企画室長	村上 信吾	会議室出席
保健医療部疾病対策課長	武村 知己	会議室出席
保健医療部疾病対策課 がん・循環器病対策推進室長	益子 徹	会議室出席
保健医療部健康推進課長	石川 裕子	会議室出席
保健医療部健康推進課 地域包括ケア推進室長	大澤 和則	会議室出席
保健医療部薬務課長	埴 清美	会議室出席
保健医療部生活衛生課長	仁藤 健二	会議室出席
福祉部障害福祉課長	森田 教司	オンライン参加
福祉部少子化対策課長	楊 箸幸恵	オンライン参加
病院局病院事業管理者	軸屋 智昭	会議室出席
病院局経営管理課長	丹 茂樹	会議室出席
病院局経営管理課企画室長	岡崎 一裕	オンライン参加

令和6年度第1回茨城県医療審議会
(同保健医療計画部会及び茨城県地域医療構想調整会議合同)
質疑応答要旨

日時：令和6年8月28日（水）
15時00分から16時10分まで
場所：茨城県庁11階1106会議室
(Web会議（対面併用）として開催)

●審議事項

・地域医療連携推進法人の代表理事の選定について（諮問）

松崎会長 県知事から諮問があった地域医療連携推進法人の代表理事の選定については、当審議会として適当である旨を答申してよろしいか。

～異議なく承認～

・医師の働き方改革に係る特定労務管理対象機関の指定について（諮問）

塚田委員 茨城西南医療センター病院の診療科が脳神経外科のみだが、これはどういうことか

医療人材課長 今回、救急医療の分野で申請があったが、脳神経外科が特に時間外が多くなるボリュームゾーンということ。それ以外の診療科はそこまでの時間にはならないという医療機関の判断であると認識している。

松崎会長 県知事から諮問があった医師の働き方改革に係る特定労務管理対象機関の指定について、当審議会として適当である旨を答申してよろしいか。

～異議なく承認～

●報告事項

・第7次茨城県保健医療計画の達成状況について

・「医療提供圏域」設定に伴う今後の方針等について

塚田委員 医療提供圏域について、ワーキングでいろいろやっていくということだが、具体的なところを教えてください。

医療政策課 第8次保健医療計画で高度医療の関係の医療提供圏域という考え方が新しくできた。各9つの医療圏でみると高度急性期が足りない状況があり、医療提供圏域において高度急性期をどのように実際に役割分担をしていくかなどを議論いただくことで設定している。

塚田委員 高度医療を中心と考えてよいか。

医療政策課 そのように考えている。まずそれぞれの専門の委員で構成されている作業部会の中でどういった機能、どういった病院、役割分担をしていくのかというあり方に関して、この作業部会で議論いただくことを想定している。

田宮委員 私がこのヘルスサービス開発研究センターとして、地域医療提供体制データ分析チームの立ち上げをやらせていただくこととなった。多くの事情や意見を伺っており、なるべくエビデンスで対応できるようにしていきたい。高齢者が多くいる中で医療を考えるときに、介護と一緒に考えていかなければならないため、今回のデータ申請にあたっては、介護レセプトも合わせて分析し、介護医療院や地域包括ケアのこともわかるようにという意図で進めている。データの収集においては県に尽力いただいているところだが、もし委員の皆様で何かありましたら、ぜひご協力いただけるように、できるだけデータから実態に合わせたことがやりたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

- ・地域医療構想の推進について
- ・令和5年度病床機能報告の結果について

浅野委員 地域包括ケア病棟と、新しく展開されている地域包括医療病棟は、どこへ分類されるのか。

医療政策課 提供される医療機能により、急性期または回復期に分類して報告いただいている。

浅野委員 医療病棟は急性期、地域包括ケア病棟を回復期にという仕分けか。それとも、その病棟の在宅復帰率等々の点数によってどちらかで報告されているということか。

医療政策課 統一的に回復期に計上する運用にはなっていない。各医療機関において、実際に投入されていく医療の内容、質に応じて、急性期または回復期を選択して報告していくと、国においては考えている。

浅野委員 これからの地域包括ケア、新しい世代の医療において、この病棟がどのように推移しているかは知りたいところ。この表で分類されるのは了承したが、この病棟がどうなっているか、介護医療院がどう推移しているかが見える化されると地域のことも考えられると思ひ、意見した。

- ・地域医療介護総合確保基金に係る令和5年度事業の事後評価について
- ・地域医療連携推進法人に係る取組状況について

- ・届出により一般病床を設置する診療所に係る報告について
- ・令和6年度医師派遣調整について

その他全体を通じた意見

浅野委員 48ページの在宅医療に、看取りの数という目標項目があるが、在宅医療は看取りのためにやっているわけではないため、できれば今後「終末期本人の希望に基づき自宅で過ごし続けた数」や、「在宅で支援チーム、特に在宅を志す先生方が支えてくださった県民の数」のように表現するか統計を考えていただきたい。

42ページの要介護度4以上の高齢者の数が、本来約3万3000人になるところを2万9000人とたいへん少なく抑えている。介護支援専門員協会でも医療課題に向き合えるケアマネジャーの育成や地域の開業医の先生たちとも協力をして、重度化を防止しており、全国に誇るべき数である。これだけ高齢者、後期高齢者も増えているが、要介護4以上の高齢者数が抑えられている。介護認定の適正化も相まってだがこれは誇るべき数字だと思いお伝えした。

地域に開業されている先生が苦勞しながら、かかりつけの患者さんを在宅で支えているケースが増えているので、そういう努力をされている数が見えてくると嬉しい。

松崎会長 ご意見ご要望ということによろしいか。看取り数や見える化など、大事な視点かと思う。それぞれの地域医療構想調整会議でも、以前のように病床数の検討だけでなく、外来機能や在宅医療、地域包括ケアの検討も入ってくると思うので、そのあたりを踏まえて、引き続き事務局の方とも相談しながら、検討を進められたらと思う。